

令和5年6月13日

保護者様

大阪市立四貫島小学校
校長 森石 泰生

児童の携行品に係る配慮について

～『らくらく通学』の取り組みを開始します～

向暑の候、皆様にはますますご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は本校教育の充実・発展のために、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、児童が通学する際の携行品の重さや量への配慮については、これまで様々な取り組みを行ってまいりましたが、今年度、本校教室内外のロッカーの整備が進んだことにより、今後は、家庭学習で使用しない教科書、ノートなどの教材などについては、児童用ロッカー等に置いて帰ることを進めてまいります。毎日の通学時の携行品の量をできる限り減らして、児童が「楽に、楽しく」通学できるようにする『らくらく通学』の取り組みを、下記の通り順次開始いたします。

宿題や予習・復習など、家庭での学習の重要性も踏まえつつ、教科書やその他の教材のうち、何を児童に持ち帰らせるか、また、何を学校に置くこととするのかについては、児童の発達段階や学習上の必要性、通学上の負担等の実態を考慮して実施していきたいと考えております。

保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

記

1. 開始時期 令和5年6月中旬より、学級ごとに順次開始

2. 実施にあたってのご注意

- 宿題や家庭学習、授業の準備物などで、ご家庭で確認が必要と判断した場合は、持ち帰らせることがあります。
- 保護者の方が家庭学習で必要性を感じた場合は、持ち帰らせることも可能です。
- 教科書等の教材を持ち帰らせた際は、時間割を確認し、お子様に声をかけ、翌日以降の持ち物の確認をお願いします。
- 夏季、冬季等の長期休み前の学期末には、教科書の冊数と内容の確認のため、持ち帰らせます。新学期の始まりに計画的に時間割に合わせて持たせてください。
- 学校では、引き続き、身の回りの整理整頓に努める指導を行います。ご家庭でもお声かけくださいますようお願いいたします。



〈ロッカー使用イメージ〉